豊岡市

2025年
5月発行
第101号

議会だより



もくじ

３月定例会の報告…… 2～ 5
一般質問に16人…… 6～14
意見書・陳情 ……15～17
１月臨時会の委員会意見と当局回答…… 17
管内視察報告…… 18
意見交換会をしませんか？…… 19
まちの仕掛人 訪問インタビュー …… 20
６月定例会のお知らせ・編集後記 …… 20

発行：豊岡市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
〒668-8666
豊岡市中央町2-4
Tel：0796-23-1119
Fax：0796-24-8041
E-mail gikai@city.toyooka.lg.jp
URL https://www.city.toyooka.lg.jp



意見が分かれた議案は起立により採決します

指定管理者の指定、市道路線の変更、財産の無償貸付、こども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定、手話言語条例制定、補正予算、特別会計補正予算、一般会計予算、国民健康保険事業特別会計予算などを審議しました。

主な議案の審議状況をお知らせします。



ホームページでも議会の情報をご覧いただけます。豊岡市議会 検索 ポチッ

《賛否が分かれた議案》

国民健康保険税条例改正、国民健康保険事業特別会計事業予算

【反対討論】

高すぎる国保税のさらなる引き上げに反対である。本市の国保の被保険者は約1万5千人、市民の約2割だが当局より示されたモデルケースでは4人世帯、2人世帯、単独世帯、どのケースも3年連続引き上げである。今後も2030年の保険税県一本化に向けて、さらに引き上げられることに対し反対である。

（日本共産党豊岡市会議員団議員）

【賛成討論】

財政基盤がぜい弱な国民健康保険を、持続可能にするための法律改正が行われ、2018年4月から運営責任が市から県へと変わり、県と市町で共同運営している。さらに、同一所得・同一保険料に向けた保険料水準の統一化が国から求められ、2030年度内の完全統一を目指し準備が進められている。よって本案に賛成する。

（ひかり議員）

2025年度　当初予算
すべて原案可決



3月 定例会

議案審議

2月28日～3月27日（28日間）

意見が分かれた議案の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。
賛成は「○」、反対は「×」、議長は採決に加わらないので「／」で表示しています。

会派名	豊義会								令和とよおかクラブ				ひかり			日本共産党豊岡市会議員団			豊岡市議会公明党		青松	審議結果
議案名等＼議員名	浅田徹	荒木慎大郎	岡本昭治	小森弘詞	芹澤正志	前田敦司	森垣康平	米田達也	石田清	清水寛	田中藤一郎	福田嗣久	太田智博	西田真	義本みどり	上田伴子	須山泰一	村岡峰男	芦田竹彦	竹中理	松井正志	
第12号議案　豊岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	／	可決
第13号議案　豊岡市こども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	／	可決
第28号議案　令和７年度豊岡市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	／	可決
第29号議案　令和７年度豊岡市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	／	可決

《賛否が分かれた議案》

こども医療費の助成に関する条例

【反対討論】
　中学3年生までの外来の無料化の拡大、高校生の入院が無料になったことは、助成制度の拡充として評価するが、中学3年生までの通院費に所得制限があり、市民税の所得割額が12万円以下は無料、12万円以上、23万5千円未満の世帯は300円、23万5千円を超える世帯は3割負担となる。子育て家庭の費用負担は減らすべきで所得制限がつくことに反対である。　（日本共産党豊岡市会議員団議員）

【賛成討論】
　高校生までの医療費完全無料化について、なるべく早い実現を目指していただきたいという意見には賛同する。しかしながら当市財政が大変厳しい中、こども医療費完全無料化に向けて、対象は毎年拡大されており、実現に向けて一歩ずつではあるが確実に進んでいる。よって本案に賛成する。　（豊義会議員）

予算決算委員会の意見・要望　2025年度一般会計予算

超過課税の検討

　他の自治体を見ると、超過課税は期限を設けて賦課されている例が多い。その時点での財政事情などを踏まえて、賦課する額や期間などを検討し決定することが一般的であるので、今後に向けて十分検討されたい。

総合健康ゾーン健康増進施設「ウェルストーク豊岡」の改修

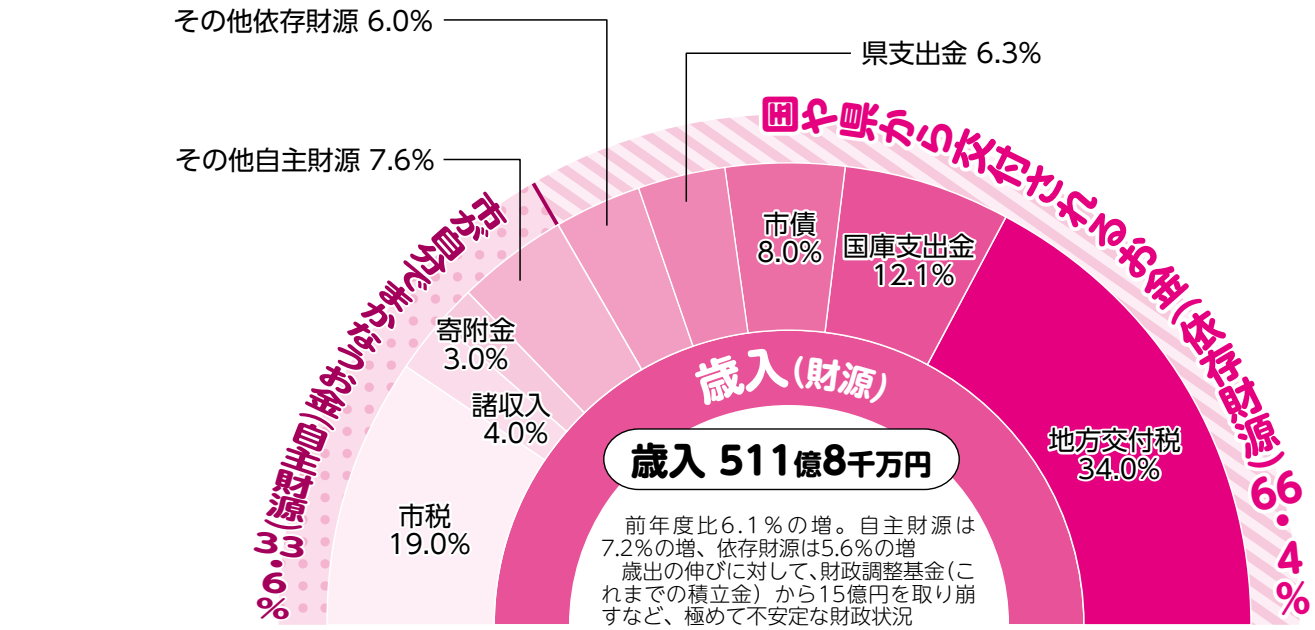
　総合健康ゾーン健康増進施設「ウェルストーク豊岡」の改修について、すべての市民に愛され、親しみをもって訪れ、利用される施設とするというううたい文句であるが、利用状況は旧豊岡市民に偏っている現状である。全市域に波及効果があるような施策を考えていただきたい。

《賛否が分かれた議案》

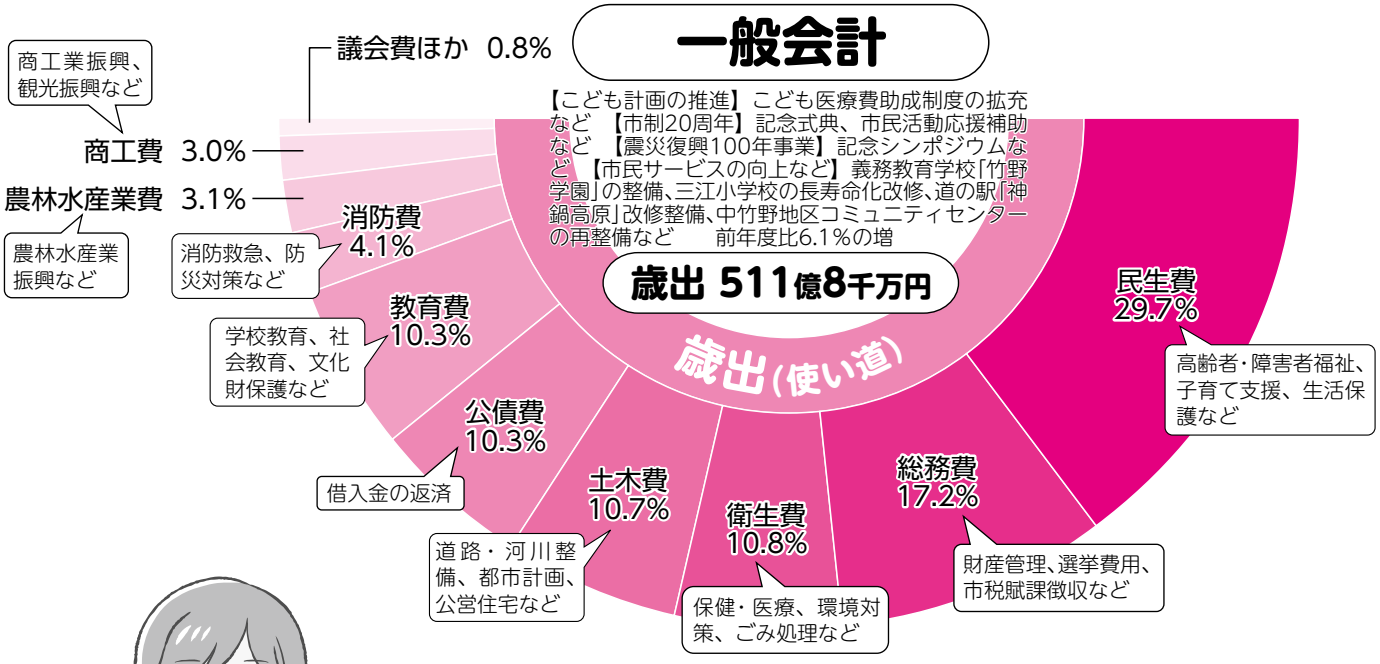
【反対討論】（要旨）
　超過課税について、個人市民税の所得に対して超過課税を課しているのは全国で豊岡市だけであり、年限を切ることもなく当然のように徴収し続けることはやめるべきである。
　但馬空港利用促進の補助金について、運賃の半額近い補助をいつまで続けるのか、市民の納める税を使っての補助拡大はいかがなものか。補助率を見直すべきである。
　こども医療費について、所得制限がつくことには反対であり、所得制限無しへの検討を求める。**学校給食費**の無償化の検討を求める。よって令和７年度予算に反対である。
（日本共産党豊岡市会議員団議員）

【賛成討論】（要旨）
　超過課税相当額は、下水道会計に繰り出しており、それがなくなれば道路整備や防災対策、産業振興などの社会基盤整備のための財源を圧迫し、市民がこれまでと同じ水準の行政サービスを受けられなくなるため、必要不可欠な財源である。
　但馬空港利用促進の補助金について、但馬地域の交流人口を支える公共交通機関は今後ますます需要が高くなると考える。よって東京直行便の実現に向け、引き続き利用促進に取り組む必要があり、適切な予算措置である。
　こども医療費の所得制限と**学校給食費**について、市は高校生までのこども医療費無料化や給食費の負担軽減について取り組んでおり、現在置かれている状況でできる限りの努力をされている。よって本案に賛成である。
（豊岡市議会公明党議員）

2025年度一般会計予算の内訳は？



一般会計





市民一人当たり予算額(一般会計)
一人当たり682,109円の予算
前年度比51,100円UP⬆
※2025年1月末人口75,032人から算出

民生費 202,245円

16,124円UP⬆

総務費 117,537円

23,372円UP⬆

衛生費 73,649円

9,850円UP⬆

土木費 73,028円

2,666円UP⬆

公債費 70,559円

4,041円DOWN⬇

教育費 70,269円

9,173円DOWN⬇

消防費 27,619円

5,018円UP⬆

農林水産業費 21,301円

1,210円UP⬆

商工費 20,703円


5,844円UP⬆

議会費ほか 5,199円

230円UP⬆

3月定例会

一般質問に16人

※ここに掲載する質問・答弁は、3月10日～13日のものです。内容については、昨今の社会情勢・対応策等、日々状況が変わってきています。

市民の皆さんの身近な問題、市の予算や政策など、さまざまな課題について活発な議論を交わしました。

代表質問

芹澤正志（7ページ）
- 市長総括説明
- 教育行政の方針と施策の展開
- 新市制20周年記念事業
- 公共施設再編計画
- 芸術文化観光専門職大学
- コウノトリ但馬空港
- 事務処理誤り
- 選挙のあり方

福田嗣久（7ページ）
- 人口減少下における市政推進
- 新年度予算
- 教育行政の方針と施策の展開

村岡峰男（8ページ）
- 市長総括説明
- 令和7年度予算
- 教育行政の方針と施策の展開

等

個人質問

太田智博（8ページ）
- 市長総括説明と豊岡の未来
- 新年度予算
- 教育行政の方針と施策の展開
- 主要事業の概要

芦田竹彦（9ページ）
- 市長総括説明
- 教育行政の方針と施策の展開

石田清（9ページ）
- 雨水幹線整備事業
- 産業振興に関連した課題
- 子育て支援

米田達也（10ページ）
- 2025年度当初予算　市制20周年　変わる豊岡
- JR利用促進施策
- 本市の上下水道事業
- 城崎温泉交流センター整備基本計画
- 竹野振興局の取り組み

義本みどり（10ページ）
- ジェンダーギャップ解消
- 自分と相手の個性を尊重するコミュニケーション
- 会計年度任用職員の再任用

須山泰一（11ページ）
- 2025年度国民健康保険税
- 市内公共交通の充実
- 高齢者等の活動支援
- 豊岡市地域医療計画の策定
- 人と自然が共生するまち

荒木慎大郎（11ページ）
- 市制20周年記念事業
- 若者会議及び自分ごと化会議
- 人口減少に対する取り組み
- 企業版ふるさと納税の獲得に向けた取り組み

清水寛（12ページ）
- 市長総括説明
- 教育行政と施策の展開

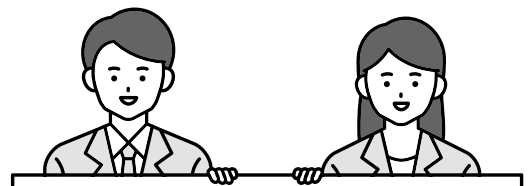
前田敦司（12ページ）
- 賑わいと魅力を創るまち
- 豊岡市の魅力を活かしたまちづくり
- 教育改革
- 市役所職員のモチベーション及び生産性向上支援

森垣康平（13ページ）
- 地域活性化施策
- 公共交通
- 出石地域の取り組み

浅田徹（13ページ）
- 安心安全なまちづくり
- 高齢者が生き生きと暮らせるまちづくり
- 農業の推進

竹中理（14ページ）
- 教育行政の方針と施策の展開
- RSウイルス感染症
- 内水浸水対策
- 投票率向上、主権者教育
- 市指定ゴミ袋

上田伴子（14ページ）
- こども医療費
- 学校給食
- 介護
- ごみの減量化と資源化
- PFAS



一般質問のページが変わりました!

今回から横書きにしました。
今後もよりよい紙面づくりに取り組んでいきます。

市議会の本会議がインターネットでご覧になれます！



インターネットにより、定例会の様子をライブ中継と録画中継で映像配信しています。
ぜひご覧ください。

豊岡市議会インターネット中継　検索

スマートフォンでも定例会のライブ中継を配信!



人口減少下の地方行政のあり方は

令和とよおかクラブ　**福田 嗣久 議員**

答　振興局の今後のあり方について検討に着手

問　人口減少下での地方行政のあり方は県、市の行政推進の一元化がテーマだと思うがどうか

答　県と市の連携強化や適切な役割分担の検討は避けられない課題だが、具体的な動きはなく判断できる段階ではない。但馬全体でまとまって引き受けるとかさまざまな視点で考える必要がある。

問　豊病組合新棟建設が経営改善につながるのか

答　高度急性期病床の拡充により重症度に応じた治療管理が可能になる。高い診療報酬が得られ、一般病棟の病床運用がスムーズになり増収効果が期待できる。

問　病院組合の新年度予算案でも内部留保としてマイナス19億強の予算となっているが、市としての関わりがうすいのではないか

答　豊岡市と朝来市の首長を委員とする構成市長会で意思決定をしている。今後も構成市としての役割を果たしていきたい。



経営改善が求められる豊岡病院

問　日本語教育機関の設置はどう考えているか

答　多文化共生を推進する上で、施設は有用だ。新年度、基礎的な調査研究を実施する。近畿、西日本には設置されていないので調査研究したうえで前に進めたい。

問　公共施設再編計画の改定、方向性はどうか

答　劣化状況、利用状況だけでなく施設が持つ機能の必要性に鑑み、地域の元気のために民間に活用してもらうなど減らすことを目的としていない。

問　不登校の対応について具体的に考えはあるか

答　子供たちの将来にも、社会にとっても大きな損失。学校復帰は絶対的なものではないが、学校でしかできないこと、地域で子供たちに何ができるのかという地域に応じたことを話し合っている。



住んでよかったと言えるまちとは

豊義会　**芹澤 正志 議員**

答　地域課題に対する施策の大転換が必要

問　市民の平穏な暮らしが持続する、住んでよかったと言えるまちとはどんなまちか

答　人口規模が小さくなっても、時代に合った地域社会や地域経済、地域文化のあり方に転換を図ることで地域の活力が維持される。今まであった施策ができるできないということになるかもしれないが、時代に合わせていかざるを得ない。



議員のひとこと　老若男女、すべての市民が夢と誇りを持ち続けていけるまちに！
つまらないまちにしてはダメ！

産業振興の強化

問　市政の財源確保につなげるための産業振興強化の考え方は

答　市内事業者の稼ぐ力が強まり、経営と雇用が安定した結果、税収の確保につながる地域経済の好循環が望ましい。産業の分野を横断した全方位の強化とともに、鞄や観光、コウノトリ育むお米など、豊岡ならではの個性を伸ばすことに引き続き取り組んでいく。



地域の強みを活かした産業の振興を

教育行政の方針と施策

問　この数年、減ることのない小・中学校におけるいじめ・不登校への対応は

答　毎月アンケートを実施して、さまざまないじめの原因を早期に把握し、強化月間を設け、教育相談等を実施することで、きめ細かく児童生徒の内面理解に努めている。不登校については、児童生徒や保護者を取り巻く環境の変化や、社会の考え方の多様化などが原因と考える。豊岡市不登校アクションプランや対策対応マニュアル、対策支援プラン等に基づき取り組んでいく。

市の未来像として必要な施策は



ひかり　**太田　智博　議員**

答　子育て支援の拡充と若者会議の継続実施

問　市の未来像から今後のまちづくりの方向性として「人口減少」「高齢化対策」「地域経済活性化対策」についてのビジョンはどうか

答　人口減少対策は、地域社会・地域経済・地域文化の質的転換を図り一定の成果が得られたが、近年の出生数の激減によって大きな改善には至っていない。人口減少対策に有効な戦略や手段、目標等の検討を行う。高齢化対策については、高齢者がいきいきと健やかに安心して暮らせるまちづくりを基本目標とし、地域の見守り・支え合い体制などサービスの充実を進めていく。地域経済活性化対策では、豊岡市経済ビジョンがベースとなるが、変化が激しく不確実性が高いこの時代に10年間の固定した計画ではなく、10年後の社会経済のあるべき姿を描き、その実現に向けた取り組みを定めている。



豊岡に良い未来が来ることを願う

問　地域経済活性化対策として、稼ぐ力が必要ではないかと感じている。豊岡鞄を中心に鞄産業を強化し豊岡の強みを活かし、稼ぐ力を高めていくことについてはどうか

答　そのとおりである。兵庫県鞄工業組合と一緒になって、市として何かできないか検討していく。

公立豊岡病院組合負担金

問　豊岡市・朝来市が構成市であるが、但馬医療圏域全体という構成市の見直しは難しいのか

答　現段階では、構成市の見直しは難しい。



議員のひとこと　人口減少によって厳しい時代が来ますが、「豊岡に住んでよかった」と思えることを願いたい。

豊岡市だけの超過課税は廃止を



日本共産党豊岡市会議員団　**村岡　峰男　議員**

答　全国の３分の１は都市計画税を課している

問　個人市民税の所得割に対する超過課税は、全国で豊岡市だけだ。何度も質問し廃止を求めてきた。標準税率は6%に対し、豊岡市は6.1％で増税額5,300万円となる。全国にない課税をしないと予算が組めないのか。恥ずかしくないか

答　毎年の質問でうれしくなる。質問のおかげでホームページもリニューアルできた。市がなぜこの道を選んだのか、市民になぜこのようにして財源調達に至ったのか、つぶさに説明し理解をしていただいている。恥ずかしいのは、市民への公共サービスが維持できない状況になることだ。

問　全国同じ税制度の下で自治体運営をやっていて、豊岡市だけが超過課税をもらわないと財政が組めないのか。ほかの自治体はどうしているのか

答　全国の自治体の3分の1は、都市計画税を課している。兵庫県下でも29市12町の中で、21市4町で都市計画税を課している。資産を持っていない市民も行政サービスを享受している。議論する必要がある。

根本的な獣対策

問　森林整備事業として里山での獣とのすみ分けの樹木伐採事業が提案されたが、人里に現れないために、山の奥地にドングリなど実のなる木を植林することを求める

答　山の奥地に熊の餌となる実のなる木を植林し、そのエリアでの生息環境を向上させることで、繁殖能力が向上し、生息数が増加する可能性がある。増えた熊の出没の懸念があり検討はしていない。



雨水幹線整備事業の進捗は

令和とよおかクラブ　**石田　清** 議員

答　雨水総合管理計画策定に向け情報共有を図る

問　内水浸水想定区域図作成業務の進捗状況、また、公表時期と公表方法はどうか

答　3月末で事業は完了し、8月頃に最大被害を想定した簡易型の浸水想定区域図の公表を予定している。なお、浸水被害が多かった地域については、フルモデルタイプの検討もしている。

問　雨水総合管理計画の策定が予定されているが、委託予算は計上されているか

答　委託予算は計上していないが、できるだけ早く効果発現を図り、総合的に対策を考えたく、関係課で成果品の横断的な共有は始めている。

農地の活用ビジョン

問　耕作放棄地の増加を防ぎ、農地活用をどのように進める考えか

答　大規模化し、経営できる農業にしていく一方、中山間地も多く抱え、小さいサイズの農業者も必要になる。複合的にやっていく。

学校給食費の支援

問　当初予算では、保護者負担の軽減、負担の一時停止等の額の予算は計上されていないが

答　計画どおり保護者負担の段階的引上げをお願いするが、国が経済対策を行った場合は対応する。



市内産有機野菜を使用した学校給食（豊岡市HPから）

子どもの医療費助成の拡充

問　高校生までの子どもの医療費助成の拡充が進められたが、小4から中3までの外来で市民税所得割額12万円以上と以下で扱いを変えた根拠は

答　夫婦2人、子供1人の世帯で、夫婦共働き世帯の収入が約400万円の市民税所得割額であること、県の所得制限の基準額の約半額であることを参考に設定した。



物価高から市民生活を守る対策は

豊岡市議会公明党　**芦田　竹彦** 議員

答　地方創生臨時交付金を活用した施策を実施

問　重点支援の地方交付金を活用した物価高騰から市民生活を守る対策はどうか

答　事業として、自動録音機能付きの電話機などの補助、障害のある子ども世帯への給付金、プレミアム付商品券の発行、子育て応援商品券の配布など、4月から利用いただくよう準備を進めている。市民生活においては、物価高騰の影響を受けていることから、今後も地方創生臨時交付金の追加交付の有無など国の動向を注視するとともに、必要に応じて市民生活を守る施策を実施する。



豊岡市プレミアム付商品券！



議員のひとこと　長期に及ぶ物価高騰は家計や事業活動に深刻な負担を与えている。市民の生活を守り、持続的な賃上げの取り組みを加速させ、経済の好循環をつくり上げることが重要だ。

問　小学校体育館の空調設備の整備はどうか

答　学校施設の避難所機能を強化し、耐災害性の向上を図る目的で創設された空調設備整備臨時特例交付金を活用して、順次整備する計画としている。25年度は5校の小学校体育館、26年度に7校、27年度にも7校の合計19校を整備する計画としている。

問　学校給食費は食材が高騰する中で段階的に引き上げられている。無償化への取り組みについてはどうか

答　国から示されている26年度から小学校の給食無償化について、制度設計の方向性を踏まえ取り組む。また、中学校についても、小学校と同様に国の方針等、情報収集に努め進めていきたい。

生理の平等を市長はどう考えるか



ひかり　**義本　みどり　議員**

答　議員の発言で多くの方がその感覚に目覚めた

問　市ホームページを見ると「ボランティア団体から小中学校のトイレに設置する生理用品の寄贈」の表記が、本市はジェンダーギャップ解消に取り組む先進地と言われているのに「生理の貧困」で立ち止まっているように見える。どう考えているか

答　小中学校への生理用品と設置ボックスの寄贈に深く感謝している。中学校はトイレに設置し生徒が気兼ねなく使える環境が整った。小学校は環境整備に課題がある。「生理の平等」は貧困という経済面のみではなく、人としての尊厳に関わる問題、ジェンダー平等につながる課題と捉える。

問　初潮の平均年齢が12歳。小学校のトイレに設置しにくいのはこのことが理由ではないのか

答　生理について学習の時期や発達年齢も考えて混乱が起こるのではという考えも理由の一つ。

問　ある中学校のアンケートで「トイレに生理用品があることで、急に生理が来た時に助かり、安心して勉強ができる」などの声があったという。寄付行為による学校の動きはどうか

答　市内にも男子と女子が一緒に生理のことを学習した小学校がある。またアンケートは「トイレにトイレットペーパーがあるのと同じように生理用品が置かれているのは当たり前という『生理の平等』を目指す」という寄付行為の趣旨を広げたいという養護教諭の強い思いもあっての取り組み。



議員のひとこと　寄付行為をした団体が但馬内の高校生にアンケートをとると「生理期間中の体調の辛さなど男子生徒も教育を受けるべきと思う割合が約70%」。



小学校のトイレに設置された「生理用品設置ボックス」残りが少なくなっています！

災害に備えたまちづくりとは



豊義会　**米田　達也　議員**

答　公助、自助、共助が一体となり形成するもの

問　本市の新たな基本姿勢として「災害に備えたまちづくり」が追加され、市民の防災意識向上に期待する。取り組みの具体的内容は

答　予算を伴う新しい事業は、防災行政無線設備の機器更新程度。これまで取り組んでいる対策を継続。災害発生時、これまでの対応で不十分な事項が生じれば、補正予算で対応していく。

問　それでは「災害に備えた」ではなく「災害に対応する」であって、備えるという意味で市民の防災意識向上や知識を持ってもらう取り組みが必要ではないか

答　予算要求の際、その姿勢で要求し、危機管理部の所管する予算を執行する。市民の防災意識向上を常に考え向かっていく。



議員のひとこと　機器更新などのハード面、防災士の育成や防災の意識向上といったソフト面も併せた取り組みを。

JRの利用促進

問　今後においても持続可能な取り組みとしていくための施策は

答　竹野駅ペイの拡大、トライやる・ウィーク実施時の公共交通利用に係る運賃助成の継続。竹野駅ペイを香美町、新温泉町の山陰本線沿線自治体へ対象範囲を拡大する。

本市の水道水の安全性

問　本市の水道水から33ng/LのPFAS(有機フッ素化合物）が検出されたが市の対応は

答　国が暫定目標値を50ng/L以下と定めていることから、超過しない場合、特別な対応は考えていない。



豊岡市の水道水は安全です



企業版ふるさと納税の目標は

豊義会　**荒木　慎大郎** 議員

答　2,600万円の寄付を獲得することを目標

問　「本市の特徴的な施策に共感していただけるよう、企業に対して、私自身も積極的にアプローチし、全庁的に取り組むことにより、寄付金額の増加を目指してまいります」と市長から発言があったが、本市の特徴的な施策とはどの施策を指しているのか

答　ジェンダーギャップの解消。深さを持った演劇のまちづくり。事業等に対して寄付を募り、本市の地方創生に向けた政策を推し進めているということが言える。

問　豊岡演劇祭を世界に誇れる事業にしていくということが重要ではないか

答　演劇祭、深さをもった演劇のまちづくりとして市外の企業から協賛・共感をいただいて寄付をいただいている。今後もそのような活動を市として、実行委員会として行ってまいりたい。



議員のひとこと　特徴的な施策を市民と行政でつくり上げ、磨くことで、注目を集められ寄付につながる！

市民活動応援事業補助金

問　制度の概要は

答　市民の皆さんが市の魅力を再認識し、今後のまちづくりにつながる新たなチャレンジを行う活動を後押しすることを目的にしている。

交付の対象者は、本市に在住、在勤または在学している者により構成される団体。



議員のひとこと　単に20周年だから20万円を20団体に配るというばらまきのような事業にならないよう取り組んでいただきたい！



市民の記憶に残る20周年記念事業を！



補聴器購入補助の詳細は

日本共産党豊岡市会議員団　**須山　泰一** 議員

答　18歳以上の中等度難聴者に１人3万円

問　補聴器購入補助の創設を歓迎する。創設目的には「聴力機能低下は、早期に対応することで社会参加を促進、認知機能低下を防止」とあるが、これは大切な視点である。制度の詳細はどうか

答　対象者は耳鼻咽喉科医の診断を受け、補聴器装用が必要と判断された18歳以上の中等度難聴者。3万円を上限として1人1回限り。助成対象は補聴器本体。5月1日から受付開始の予定。



人との交流を大切にして健康で長生きしましょう



議員のひとこと　市民要望の実現を嬉しく思います。

豊岡市独自の地域医療計画

問　日高病院診療所化問題の際から、豊岡市独自の医療計画策定を求めてきた。計画策定に予算がついたことを歓迎するが、大切なのはやはり中身だ。地域の実情をしっかりつかんでほしい

答　在宅医療の需要が増大する中で、市内の医療資源の減少により、今後、医療サービスの供給不足が懸念される。5年、10年後の最適な医療サービスを把握して、安定的な医療提供体制を構築することを目的に策定する。地域の実情をしっかり把握した上で、策定していきたい。

恒常的な農機具購入補助

問　農業者への支援拡大を求める。昨年度の農機具購入補助金のような取り組みを恒常的にできないか

答　2023年度の農林水産業機器等導入補助金は国の臨時交付金を活用して実施した。農業では256人に利用いただき、大小多くの農業者の方から高い評価をいただいた。再び国の経済対策等が実施されるなら、兼業農家を含む多様な担い手を対象とした補助制度創設も改めて検討したい。

市の特色を活かした企業誘致は



豊義会　**前田　敦司**　議員

答　可能性がある。引き続き研究していく

問　コウノトリの野生復帰は単なる環境保全ではなく、自然と共生するまちとしてのブランドを確立し、観光・農業・教育など多方面で本市の発展に寄与している。こうした取り組みは、環境配慮を重視する企業経営者にも高く評価され、企業との新たな連携の可能性もあると考える。

自然と共生するまちとしての特色を活かし、地域外の企業に対して積極的にプロモーションを行い、企業誘致を進めることで、雇用創出や地域産業の発展による経済活性化が期待できるのではと考える。さらに毎日がワーケーションのような働き方ができるまちとしてＰＲし、移住促進を行うことで、人口減少を緩やかにすることができるのではと考えるが、市の考えはどうか

答　本市の姿勢に共感いただける企業の誘致といった視点は持ちながら、一定規模の企業誘致につながる条件整備等についてもさらに研究し、雇用の場の確保に努めていきたいと思っている。



自然と共生のシンボル「コウノトリ」

問　観光や文化に関連するイベントやスポーツ大会を主催していただけるような企業を誘致する視点もあるのではないか

答　提案された件に関しては、大いに可能性はあると思うので、引き続き研究していきたい。



議員のひとこと　人口減少が急激に進んでいる。このまま進むと、今までの「当たり前」が維持できなくなる。様々な視点で検討し、危機感とスピード感を持って対策に取り組んでいかなければいけない。

地域活性化起業人制度への期待



令和とよおかクラブ　**清水　寛**　議員

答　民間視点や専門知識を活かし、地域ＤＸ推進

木材利用の拡大

問　現状と課題、木質化への取り組みはどうか

答　2022年度策定した森林・林業ビジョンにおいて、市内の森林特性に応じた木材の利用に取り組む方針を掲げ、市内建築物での木造・木質化を推進。建築材とならない木材は、まきや炭などバイオマス燃料の利用拡大に取り組む。市では、2007年度から市内公共施設や小・中学校にペレットストーブを導入し、木質バイオマスとして木材利用を進めてきたが、市内ペレット製造の2019年度終了に加えて、耐用年数経過による機器の故障も増えた。今後は機器の更新は行わず、廃止に向けて計画的な撤去、処分を進め、新たな展開として一部の公共施設において、まきストーブ設置替えも検討。公共建築物の木質化については、市建築物における木材の利用の促進に関する方針を新たに策定、木材利用の普及啓発に努める。



森林整備と木材利用は両輪で進めてこそ価値がある

部活動の地域展開・地域移行

問　地域移行から地域展開へと表現が変わり、可能性が広がったと思うがどうか

答　地域展開には、地域に開いていくことを主とし、新たな価値を創出して、より豊かで幅広い活動を可能とする文化・スポーツ活動を楽しむ部活動にしていく2つのメッセージが含まれている。市の意識調査では、友達と仲良く楽しくが一番多く約72％。市立9中学校は、部活動が3種類から13種類ある学校まで大きな格差があり、学校単位ではなく、地域として機会を保障することで、学校間格差の解消につなげ、活動内容も活動時間も地域に展開することに重きを置いて進めていく。



市民が利用できない市民サービス

豊義会　**浅田　徹** 議員

答　DXは丁寧な説明と理解が必要と感じている

問　今年の4月1日より、公共施設予約システムが実施されるが、施設の予約や開閉がスマートフォン操作になるため、高齢者や予約システムを利用できない市民への対応策が必要ではないか

答　今後、新しいことをやる際は、誤解を生じさせないよう常に頭に留め、十分丁寧な説明をして理解いただくことが必要と改めて感じた。苦手な方は、今まで通りの利用等を行っていただく。



コミュニティセンターに設置された「電子錠」

問　高齢者組織の活性化検討が必要だがどうか

答　組織の魅力アップや役員の負担軽減策について、協議を進めている。例えば、複数地区の有志10人以上集まれば、組織活動を可能としている。

救命救急の推進による安全安心なまちづくり

問　日本一忙しいドクターヘリの出動基準が見直しされるが、出動回数や上限に影響を及ぼすのか。また、軽症者等を救急搬送した場合、救急車の有料化について、市の考えはどうか

答　見直しには、119番受信時の通報内容、ドクターヘリ出動基準キーワードが含まれているが、結果連絡はまだ受けていない。また、軽傷者等の救急車利用料の徴収については、考えていない。

北但大震災100年・豊岡の地図混乱地域の解消

問　地震火災で焼失した土地の登記未了地域を対象に、新年度国直営の是正事業が予定されている。実施には市の協力が不可欠だが考えはどうか

答　100年未解決の地図混乱地域の解消が、現実となる。事業主体は、神戸地方法務局で全額国費、期間は2か年。範囲は、元町・小田井・幸・寿・泉・中央・千代田・大手町の一部で約48ha、3,400筆が予定されており、市は積極的に協力する。



高校生通学補助拡充の考えは

豊義会　**森垣　康平** 議員

答　補助額等含め、事業のあり方を整理する

問　平等な教育を受けるため、現在国では、公立私立問わず高校の授業料無償化の議論がなされている。しかし、市内には高校に進学して通学費に年間18万円かかる地域もある。この状況をどう考えるか

答　どこに住んでいても、進学先によっては同じような負担をしている。特定の地域だけが、負担増になっているとは考えていない。

問　高校の授業料のように、世帯所得によって補助額を変えるシステムは検討できないか

答　現制度は10年以上前のもの。時代に即した内容にすることは必要と考えるが、財源がいることなので、皆さんと内容を決めていきたい。

公共交通利用促進策

問　公共機関の利用を増やすために啓蒙的な取り組みが必要と考えるが、市の方針はどうか

答　多角的な視点で市民との対話の機会を増やしていきたい。また、利用促進策の周知に努めたい。



公共交通機関の要である全但バス

出石地域の取り組み

問　出石地域の市営駐車場は、指定管理制度が導入された。これを機に、バス駐車枠が2つの駐車場で合計27台から7台へ大幅に削減された。7台とした根拠と繁忙期の対応は

答　駐車枠の変更は、過去の年間利用実績の平均を基本に利用動向予想を勘案し、指定管理者が必要区画数を算出し、市が承認した。しかし、変更後のバス区画の台数では不安もあると認識し、指定管理者に区画の再検討を要請した。繁忙期の対応は、地元関係団体と検討していく。

子ども医療費無料化 所得制限撤廃



日本共産党豊岡市会議員団　上田 伴子 議員

答　行財政運営への影響を考慮する必要がある

問　子ども医療費の無料化が前進してきたことはすばらしいが、所得制限がついたことだけは本当に残念であった。中3まであと1,400万円で解消できるようだが、なぜできないのか

答　限られた行政資産を困っている方々に集中的に投資すべきだと考える。

問　無料化の完全実施は近隣市町では高校生まで拡大し、本市は一歩も二歩も遅れている。いくら説明を受けても納得できないがどうか

答　事業費の総額は大体2億円程度になっている。子どものため、未来のために何が最適か、議論を進めていきたい。



議員のひとこと　子育て世代を支えてこそ豊岡の未来につながる。

介護認定の現状と課題

問　介護認定にかかる日数を国は30日を目安としているが、本市はどれくらいかかっているのか

答　2023年度は平均42.9日、2024年度は平均41.3日と少し早くなったが、申請日から30日以内にしなければならないという規定は守れていない。

問　認定が遅くなる要因は何か

答　入院等で状態が安定しない対象者の認定調査や日程調整、主治医意見書の準備に時間を要したことなどがあげられる。

問　全国的に早いところは20日前後なので本市は遅い。調査員の数は少なくないか

答　調査員は21名なので、充足している。



議員のひとこと　市民の不安は適切な介護サービスが受けられるかどうかである。安心できる受け入れ体制の構築を。



介護者の介助で散歩から帰ってきた人たち

RSウイルス感染症の周知徹底を



豊岡市議会公明党　竹中 理 議員

答　特化した内容でHPや市広報紙で周知したい

問　肺炎を引き起こすウイルス感染症で今注目のRSウイルス感染症。加齢や基礎疾患で免疫力が落ちた高齢者が感染すると、重症化し肺炎リスクが高まる。一昨年に高齢者向けRSウイルスワクチンが日本でも承認された。昨年1月から接種可能だが、任意接種、保険適用外で全額自己負担。国は重点感染症と位置づける、開発優先度が高いワクチンであり、市も半額程度の公費助成を検討してはどうか

答　現在RSウイルス感染症に特化した周知、感染予防の注意喚起は行っていない。今後は、市ホームページや市広報紙に掲載するとともに、注意喚起を行う。公費助成について、予防接種法に基づく定期接種は行うが、任意接種は、公費助成はしておらず、RSウイルスワクチン接種についても公費助成は考えていない。



２歳までにほぼ100%の人がＲＳウイルスに感染する

特定都市河川とは

問　流域治水の基本的実施に向けて、水害リスクを踏まえたまちづくり、住まいづくり、流域における貯留や浸透機能の向上で浸水被害防止を目的とした河川である。国は今後、関連する市町に対し特定都市河川指定を推進している。円山川の特定都市河川指定に向けて市はどう関わるのか

答　昨年3月の流域治水協議会において、令和8年度までに指定するロードマップが国から公表された。指定に向けて来年度以降、指定範囲や計画内容を具体化していく予定。指定されると浸水対策の加速化が期待されるため、市としても、特定都市河川指定や流域水害対策計画策定に積極的に関与し、内水も含めた浸水被害軽減に取り組む。

意見書・陳情

意見書

意見書案第1号

日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書

提出者　豊岡市議会議員
村岡峰男　上田伴子　須山泰一

〔要　旨〕

本意見書は、「地方自治法第99条の規定に基づき、日本政府に対し、核兵器禁止条約に署名し、国会で批准するよう求める」といった趣旨のものである。

「被爆80年を迎える今年、唯一の戦争被爆国として日本が核廃絶の先頭に立つべきだ」と訴え、条約の規範力を強化し、核兵器の使用や威嚇を許さない国際的な流れに貢献するよう求めた。

〔審議の過程〕

本会議で採決を求めたところ、一部の議員より、「核兵器廃絶への理念は共有するが、現在の安全保障環境を踏まえると、日本はアメリカの核の傘の下で抑止力を得ており、条約参加は現実的ではない。北朝鮮やロシアによる核の脅威が存在する中、安全保障の視点を欠いた条約への参加は日本の防衛を危うくする可能性があるとして、意見書には反対する」との意見がありました。

一方で「核兵器禁止条約は、草の根の署名活動や国際世論によって実現された画期的な条約であり、日本こそが被爆国として先頭に立つべきである。核廃絶は人類の生存に関わる問題であり、条約への不参加は市民の願いに背く。国の姿勢を変えるには、地方議会からの声が重要として、意見書に賛成する」との意見が出された。

【本会議での採決】

賛成少数で否決となった。

陳情

陳情第1号

ＰＦＡＳ漏出場所の調査に関する陳情書

提出者　化学物質管理専門家
山田貴久

〔要　旨〕

本陳情は、豊岡市水道水からＰＦＡＳピーファス（有機フッ素化合物）が33ng／Ｌナノグラムパーリットル検出されたことを受け、その発生源を特定するための調査を求める陳情。

ＰＦＡＳは発がん性が指摘されており、市民や観光客の健康を守るために漏出場所の早急な調査を実施すべきと訴えている。

〔審議の過程〕

建設経済委員会において、一部委員より不採択の立場から、「検出された33ng／ＬはＰＦＡＳの一種であるＰＦＯＳピーフォスおよびＰＦＯＡピーフォアの合算値で、国が定める暫定目標値（基準値）以下である。その合算値は、人の健康に悪影響が生じない水準として、国が暫定目標値を50ng／Ｌ以下と定めていることから、市としては、国が定めた目標値を基に管理を行う考えであると一般質問で答弁されている。

また、現段階では、目標値以下であることから他の水質検査項目（51項目）と同様に、超過をしない場合の特別な対応については考えていないと言うのが市の見解である。今後も水道法による基準等を遵守し、適正な管理に努めていただきたい」との意見が出されました。

一方、採択の立場から、「陳情の趣旨は、豊岡市内で検出されたＰＦＡＳ33ng／Ｌの漏出場所の特定調査をしていただきたいという内容である。

陳情者は豊岡市のホームページにアップされた3月5日以前である2月13日に陳情として提出したものであることから、陳情者の思いを汲んで採択することが妥当である」との意見が出されました。

このため、採決を行った結果、賛成少数により不採択とすべきものと決定しました。

【本会議での採決】

賛成少数で不採択となった。

陳情第2号

浄水場の管理に関する陳情書

提出者　化学物質管理専門家
山田貴久

〔要　旨〕

本陳情は、豊岡市の水道水に含まれるＰＦＡＳの濃度について、浄水場出口水で検出下限値未満または定量下限値未満に管理するよう求める陳情。

ＰＦＡＳは人体への悪影響が懸念されるため、安全な水道水供給の観点から、厳格な水質管理を行政に求めている。

〔審議の過程〕

建設経済委員会において、一部委員より不採択の立場から、「先ほどの陳情第1号と同等の理由により陳情は不採択が妥当である」との意見が出されました。

一方、採択の立場から、「陳情の趣旨は、ＰＦＡＳ濃度を検出下限界値未満又は定量下限値未満となるように管理していただきたいという内容である。豊岡市の水源のＰＦＡＳ濃度は高いところは33ng／Ｌであり、浄水場の管理は市がおこなうものである。陳情者の趣旨を理解できることから、採択することが妥当である」との意見が出されました。

このため、採決を行った結果、賛成少数により不採択とすべきものと決定しました。

【本会議での採決】

賛成少数で不採択となった。

陳情第3号　水道料金に関する陳情書

提出者　山田貴久

〔要　旨〕

本陳情は、東京都23区では、口径13㎜・月10㎥使用時の水道料金が１０６７円であるのに対し、豊岡市では１８８１円と約1・8倍の負担となっている。

物価やエネルギー高騰により生活が厳しさを増す中、市民の負担軽減のため、水道料金を東京都並みに引き下げるよう求めた陳情。

〔審議の過程〕

建設経済委員会において、委員より不採択の立場から、「これまでの本市における経緯を踏まえて考慮すると、水道料金の改定については採択すべきではないと考える」との意見が出されました。

採決の結果、全会一致で不採択とすべきものと決定しました。

【本会議での結果】

全会一致で不採択となった。

陳情第4号　各戸への給水栓（蛇口）用ろ過器配布に関する陳情書

提出者　化学物質管理専門家　山田貴久

〔要　旨〕

本陳情は、ＰＦＡＳが豊岡市の水道水から33ng／Ｌ検出されたことを受け、各家庭の蛇口にＰＦＡＳ除去を目的とした活性炭方式のろ過器を配布するよう求める陳情。

漏出源の特定と除去が完了するまでの暫定的な健康保護策として、市民の安全確保のために早急な対応を求めている。

〔審議の過程〕

意見が分かれた意見書および陳情書の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない意見書等は全会一致で可決されました。

賛成は「○」、反対は「×」、議長は採決に加わらないので「／」で表示しています。

会派名	豊義会								令和とよおかクラブ				ひかり			日本共産党豊岡市会議員団			豊岡市議会公明党		青松	審議結果
議員名 / 議案名等	浅田　徹	荒木慎大郎	岡本　昭治	小森　弘詞	芹澤　正志	前田　敦司	森垣　康平	米田　達也	石田　清	清水　寛	田中藤一郎	福田　嗣久	太田　智博	西田　真	義本みどり	上田　伴子	須山　泰一	村岡　峰男	芦田　竹彦	竹中　理	松井　正志	
意見書案第１号　日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の提出について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	／	否決
陳情第１号　ＰＦＡＳ漏出場所の調査に関する陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	／	不採択
陳情第２号　浄水場の管理に関する陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	／	不採択
陳情第６号　ＰＦＡＳの血中濃度検査に関する陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	／	不採択

建設経済委員会において、一部委員より不採択の立場から、「陳情第1号と同等の理由により陳情は不採択が妥当である」との意見が出されました。
採決の結果、全会一致で不採択とすべきものと決定しました。

【本会議での結果】
全会一致で不採択となった。

陳情第5号
公共施設の給水栓（蛇口）へのろ過器設置に関する陳情書

提出者　化学物質管理専門家　山田貴久

〔要　旨〕
本陳情は、豊岡市の水道水から33ng／LのＰＦＡＳが検出されたことを受け、公共施設におけるすべての蛇口に、ＰＦＡＳ吸着を目的とした活性炭方式ろ過器を設置するよう求める陳情。
漏出源の特定と除去が完了するまでの暫定措置として、市民と観光客の健康を守るための対策を要望している。

〔審議の過程〕
建設経済委員会において、一部委員より不採択の立場から、「陳情第1号と同等の理由により陳情は不採択が妥当である」との意見が出されました。
採決の結果、全会一致で不採択とすべきものと決定しました。

【本会議での結果】
全会一致で不採択となった。

陳情第6号
ＰＦＡＳの血中濃度検査に関する陳情書

提出者　化学物質管理専門家　山田貴久

〔要　旨〕
本陳情は、ＰＦＡＳが水道水から検出されたことを受け、市民の健康影響を把握するため、希望者に対し血中ＰＦＡＳ濃度検査を公費で実施するよう求める陳情。
特に妊婦や乳幼児への影響が懸念される中、命と将来世代を守る少子化対策の一環として、早急な検査実施を求めている。

〔審議の過程〕
建設経済委員会において、一部委員より不採択の立場から、「陳情第1号と同等の理由により陳情は不採択が妥当である」との意見が出されました。
一方、採択の立場から、「陳情の趣旨は、希望する市民に対して、血中ＰＦＡＳ濃度検査を公費にて実施してほしいという内容である。ＰＦＡＳの値が1mLあたり20ng以上であると健康リスクが高まるとされている。よって、豊岡市のホームページなどを見られた市民から、検査の希望があった場合には、公費での血中濃度測定検査などの対策を講じるべきであり、採択することが妥当である」との意見が出されました。
このため、採決を行った結果、賛成少数により不採択とすべきものと決定しました。

【本会議での採決】
賛成少数で不採択となった。

その後どうなった?!



1月臨時会の委員会審査における委員会意見と回答

プレミアム付商品券

引換券の発送誤り等がないよう速やかに事業を進めていただきたい。　**（予算決算委員会）**

プレミアム付商品券事業については、引換券の作成、封入封緘の業務委託契約を１月末に締結し、現在、発送誤り等がないよう事業者と連携しつつ慎重に準備を進めている。なお、引換券は３月下旬に発送し、商品券は４月７日(月)から販売開始する予定である。　**（環境経済課）**

交通網問題対策等調査特別委員会（3月25日）

（新）城崎大橋完成に伴うバス路線の新設

【視察先】（新）城崎大橋と全但バス「城崎豊岡玄武洞線」

（新）城崎大橋の今春完成が予定されているが、この完成に伴って、全但バス「城崎豊岡玄武洞線」（城崎温泉駅⇔玄武洞公園⇔豊岡駅）が新設される。同時に、これと路線が重なる市営バス「イナカー」赤石線（赤石⇔豊岡駅）が廃止されることとなる。

（新）城崎大橋の橋梁延長は561.5mで、車道が2車線と自転車歩行者道が整備されるが、全但バス「城崎豊岡玄武洞線」は、この（新）城崎大橋を利用するルートで、平日「4往復8便」、土・日・祝日「3往復6便」が運行される。

地域公共交通網は社会インフラであり、その維持、充実は、人口減少や高齢化対策の一環でもある。市担当部署から、全但バス路線の新設と市営バス「イナカー」赤石線の廃止を含む「豊岡市地域公共交通会議」の協議内容等の報告を受けた後、（新）城崎大橋の架橋現場に赴き、県豊岡土木事務所の説明を受け、全但バス新設路線の停留所予定地も視察した。



（新）城崎大橋の進捗状況について説明を受ける委員

新たな豊岡市議会議員を紹介します

4月27日執行の市議会議員補欠選挙（欠員3名）により、3名の議員が当選しました。

これにより、議員は定数どおり24名となりました。

（任期：2025年4月28日～10月31日）



山田（やまだ）　貴久（たかひさ）　氏

〔会派〕ともにとよおか。

【委員会所属】

建設経済委員会

防災対策調査特別委員会



中尾（なかお）　浩二（こうじ）　氏

〔会派〕豊義会

【委員会所属】

総務委員会

議会広報広聴特別委員会



加藤（かとう）　勇貴（ゆうき）　氏

〔会派〕ことのは

【委員会所属】

文教民生委員会

交通網問題対策等調査特別委員会

意見交換会をしませんか？

皆さんの声を聴かせてください！

＝市議会議員（委員会）と意見交換をする団体を募集します＝

◆**対象**／市内の各種団体、グループ
◆**内容**／団体等の活動内容、課題など
◆**方法**／団体等から出されたテーマについて意見交換（90分間程度）
◆**開催時期および会場**／申し込み受付後に、個別に議会スケジュール等と調整
◆**申込方法**／次の事項を記入の上、郵送、ファクスまたはメールで申し込んでください。
①団体等の名称、所在地、活動内容、参加人数、代表者、連絡先（氏名、電話番号）
②希望される開催時期、会場
③意見交換のテーマ
◆**申込期限／６月12日（木）**
◆**申込み・問合せ／議会事務局**
℡　23-1119　FAX 24-8041
E-mail　gikai@city.toyooka.lg.jp
◆**その他**／申し込み多数の場合は、議会日程などの都合によりお断りする場合があります。ご了承ください。


意見交換会の様子

委員会の委員・所管事項

◎委員長　○副委員長

	総務委員会	文教民生委員会	建設経済委員会
委員	◎村岡　峰男　○芹澤　正志 芦田　竹彦　石田　清 岡本　昭治　西田　真 中尾　浩二	◎清水　寛　○荒木慎大郎 須山　泰一　福田　嗣久 前田　敦司　森垣　康平 義本みどり　加藤　勇貴	◎米田　達也　○太田　智博 浅田　徹　上田　伴子 小森　弘詞　竹中　理 田中藤一郎　山田　貴久
委員会重点調査事項	・基本構想と市政運営 ・地方創生施策の推進 ・移住定住・人口減少対策 ・地方財政及び行財政改革 ・公共施設マネジメント ・自治体ＤＸの課題と推進 ・消防行政の推進 ・地域コミュニティの推進 ・ジェンダーギャップ解消の推進	・福祉等の充実 ・医療の確保 ・環境衛生 ・交通安全・防犯対策 ・教育をめぐる諸問題 ・子ども・子育て支援 ・文化・スポーツ振興 ・文化財の保護と伝統文化の継承 ・生涯学習	・環境経済戦略の推進 ・農林水産業・商工・観光・特産振興等経済支援、地域活性化施策の推進 ・有害鳥獣対策の推進 ・地域内幹線道路の整備促進 ・都市計画マスタープラン ・公営住宅のあり方 ・下水道事業計画及び地域水道ビジョンの推進 ・専門職大学と演劇のまち ・老朽危険空き家対策

まちの仕掛人 訪問インタビュー

～地域を彩る情熱の灯：たんとうチューリップまつりの軌跡と未来～

但東町で30年以上続く「たんとうチューリップまつり」は、平成4年、花卉（かき）球根園芸組合がオランダからの球根輸入自由化による起死回生の一手として始められた事業であった。平成6年「但馬・理想の都の祭典」への参加による賑わいから、イベントと球根生産の両立に可能性を感じて継続を判断。7年目からはオール但東体制の実行委員会組織となった。

当初、隣町での認知度の低さに直面し、単なるイベントではなく「まちを知ってもらう取り組み」と位置づけられた。人口減少が進む今、これを移住促進へと繋げたい思いがあるものの、スタッフ不足という課題に直面している。また開花時期に左右される開園日決定は毎年の苦労であり、継続のため入場料見直しの必要性も感じている。

インタビューを行った会場内「森Ｃａｆｅ」は、山の中で人々が憩う空間を目指して作られた。「まちが公園というスケールでやりたい」という霜倉実行委員長。自然豊かな地域全体を魅力的な空間とする壮大な夢は、数人から始まった活動が徐々に広がり、農家をも巻き込んだ地域全体の公園化へと繋がっている。

長く継続する秘訣を伺うと「大事なのはリーダー、馬鹿になる人がいないと出来ない」とのこと。その言葉には、情熱と行動力を持ったリーダーの存在と、周囲を巻き込む推進力が不可欠であったことが示唆される。「今や止められない」という言葉には、イベントが地域に深く根付き、かけがえのない存在となっていることを物語っている。

地域への深い愛情を根底に、「地域があるから自分も生活ができる」という価値観を持ち、短期的な損得ではなく長期的な視点での地域振興を重視する地域ラブを育てるための考え方がある。現状の損得優先の風潮には危機感を抱きつつ、「お客さんの期待に応えたい！楽しい！！」という強い想いが、イベントを支え続けている。地域への愛情と来場者への温かい想いが、市の花咲く祭りを未来へと繋いでいく。



6月定例会の日程（予定）

開　　会	5月30日(金)
一般質問	6月 9日(月)～12日(木)
常任委員会審査 (総務・文教民生・建設経済)	6月16日(月)9時30分～
常任委員会審査（予算決算）	6月12日(木)※1、23日(月)※2
特別委員会審査	6月23日(月)9時30分～
閉　　会	6月25日(水)

※1　一般質問終了後に開催　※2　13時～

・本会議は9時30分から市の議場で開催します。

【傍聴について】

一時保育（無料）もありますので、一時保育利用希望者は１週間前までにお申し込みください。また、豊岡市議会インターネット中継によりパソコン、スマートフォンから審議の様子を生中継でご覧いただけます。

■問合せ／豊岡市議会事務局
☎ 0796-23-1119

編集後記

▼議員生活８年目ですが１年目以来２度目の議会広報広聴メンバーです。▼なぜか日頃から文章を書く機会にも校正する機会にも恵まれていますので、ブランクを感じることはありませんが、やはり人の文章に直接触れるのは大変緊張しますし、勉強にもなります。書かれた本人の気持ちをしっかりくみ取り、なおかつ読み手に伝わりやすい文章にするために、出来るだけシンプルな文章になるよう核心を削り出していきたいと思います。（しみずひろし）▼今年は、いろいろのことで「節目の年」と言われます。戦後80年、阪神淡路大震災から30年、北但大震災から１００年です。災害と人々の復興とたたかいの歴史にしっかりと学びたいものです。▼豊岡市も合併から20年、議会だよりも前号で１００号「節目の議会だより」でした。新たな１００号に向けて、大きく刷新した議会だよりに挑戦です。横書きの議会報告記事は読みやすかったでしょうか。どこかで感想を聞かせてください。（むらおかみねお）

議会広報広聴特別委員会

委員長	前田	敦司
副委員長	芦田	竹彦
委員	太田	智博
〃	岡本	昭治
〃	清水	寛
〃	村岡	峰男

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。